

AEROEL TABLE-GAUGE_{XY}



Xactum インテリジェントレーザーゲージを卓上型マイクロメーターとして構成

迅速・高精度・簡単に直径測定を行え、ワイヤーサンプル、光ファイバー、マグネットワイヤーなどの検査に最適です。

作業者のレベルに依存せず、高精度かつ優れた再現性を実現します。

独自のレーザー技術により、超高精度で安定した測定を優れたコストパフォーマンスで提供します。

MARPOSS

TABLE-GAUGE.XY

XLSゲージは専用ソフトウェアでプログラムされ、表示ユニット、リモコン、ワーク固定用治具、卓上設置用ベースプレートで構成されます。

この構成により、従来は測定室で高価な装置と専門技術者が必要だったレベルの精度を、様々な製品の直径、真円度を現場で迅速に測定可能です。



システム構成

Table Gauge X システムは以下で構成されます。

- 2軸Xactumゲージ (XLS13XY または XLS35XY)
- Table-Gauge.Xソフトウェア (ゲージにインストール済)
- DM-200 マルチカラーLED表示ユニット
- ユニバーサル電源
- 赤外線リモコン
- 表示器用ブラケット
- 卓上設置用ベースプレート

オプション:

- ワーク固定用Vブロック
- 手動回転治具 (XLS13XYのみ)
- フットスイッチ
- PC通信用ソフトウェア「GageXcom」



AEROEL 独自の特徴

- 流体動圧軸受技術を採用したスキャンモーター (ボールベアリング不使用) により、摩擦がなく長寿命
- NO-VAR機能により、温度変化によるワークの膨張を自動補正 (材料の熱膨張係数を設定)
- Webサーバー機能により、Ethernet経由でブラウザからアクセス可能。ブラウザ上で測定値の確認、設定変更、プログラミング、またビデオ信号表示 (光パルス) の表示も可能



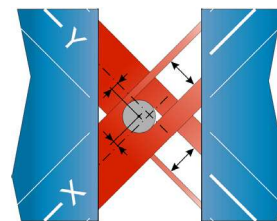
測定内容

交差する2つの軸に沿った直径DxとDy、および測定フィールドの中心から断面の中心の位置CxとCyを測定します。ワークは不透明・透明のいずれにも対応可能です。

測定時間 (または測定周波数) は、平均化するスキャン数を設定することで調整でき、必要な繰返し精度および分解能を得ることが可能です。(1)

シングルフェイススキャン:

すべての測定モードで、1つのミラーのみを使用し、スキャン面の横振れを低減。この場合スキャンレートは120Hzまたは125Hzに低下します。



測定モード

2軸90°フリーラン測定:ワークをセットすると直径と真円度を表示します。



自動同期モード:ワークセット後、設定された遅延時間後に1回測定。ワーク取り外し後も測定値を保持します。

コマンド測定:平均値・最大値・最小値およびその差(DMax-DMin)を取得。測定中にサンプルを回転させることで、製品の真円度の真の値を取得できます。開始/停止は、リモート(Ethernet / RS232)またはリモコンのディスプレイSETキー、デジタル入力で行えます。フットスイッチ接続によりハンズフリー操作ができ、部品の操作が容易になります。

表示およびリモート操作

マルチカラーLED表示により測定値を表示し、赤外線リモコンによるプログラミング機能を備えています。



測定値とプログラムデータは、リモコンまたはディスプレイパネルのSETキーを使用して、ディスプレイ上で表示できます。

最大1000種類のパラメータを部品プログラムリストに保

存できます。

表示色は、公差状態に応じて変化(緑、オレンジ、赤)します。

表示ユニットには、外部機器制御用4系統アラーム出力を備えています。

ユーザーによる再マスタリング用オフセット機能

単位切替(mm/inch)と分解能設定($0.01\mu\text{m}$ / 1×10^{-6} インチまで)対応⁽³⁾



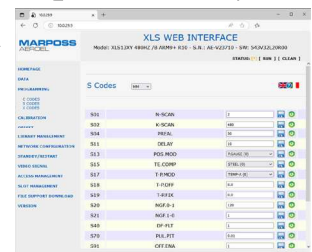
PC インターフェース

外部/リモートPCはEthernet / RS232でシステムへ接続でき、システム設定および測定データ取得が可能です。

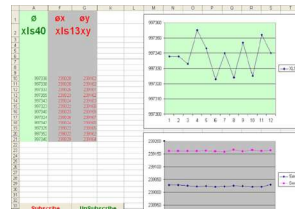
Webサーバー機能により、センサーをEthernetケーブル経由でインターネットブラウザに接続し、ウェブサイトに表示できます。

また、RS232ポートをVT100エミュレーションモードで使用することも可能です。これにより、Windows⁽⁴⁾

Hyperterminalプログラムを使用するPCや、ハンドヘルド端末に接続できます。



オプションのGageXcomソフトを使用することで、Excel⁽⁴⁾を用いたシステム設定および測定データ取得を行えます。また、Excelマクロや標準のExcel関数を使用してデータ処理を行うことで独自アプリケーションの構築も可能です。



(1) 480Hzスキャナーでのみ利用可能です。

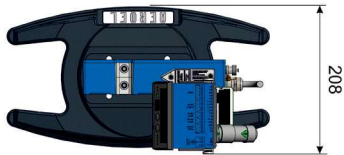
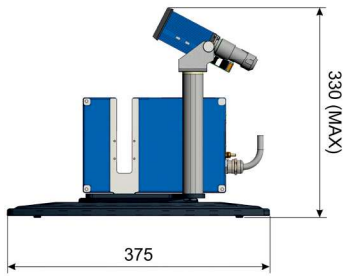
(2) 平均化スキャンの最小値は、480Hzゲージでは4、1500Hzゲージでは12にプリセットされています。最大測定周波数はそれぞれ120Hzまたは125Hzです。測定再現性は、単発測定再現性(ゲージデータシート参照)を平均スキャン回数の平方根で割ることによって算出できます。

(3) 表示の制限により、上位6桁のみが表示されます。シリアル出力ポートを使用すれば、フル解像度での表示が可能です。

(4) WindowsおよびExcelは、Microsoft Corporationの登録商標です。

仕様

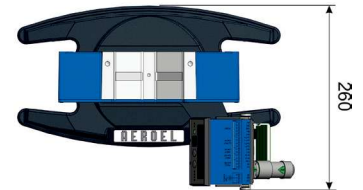
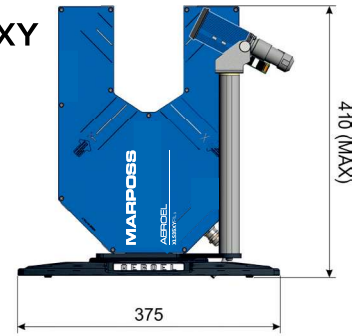
XLS13XY/480



XLS13XY/1500



XLS35XY



寸法の単位はすべて[mm](ケーブル・コネクタを除く)

表示器・アラームモジュール DM-200



メイン表示: 6桁7セグメント マルチカラーLED

サブ表示: 2桁LED

入出力状態表示用ランプ: 6個

出力: PNP保護4系統(最大100mA)

入力: PNP 2系統(標準15mA)

アナログ出力(オプション): $\pm 10V$

外形寸法: 97 × 49 × 105 mm

重量: 0.3 kg

電源: 24 V DC / 150 mA



赤外線リモコン

サイズ: 180 × 50 × 26 mm

重量: 80 g(電池を除く)

電源: 単4電池×2

モデルラインアップ

モデル	TABLE-GAUGE.XY13		TABLE-GAUGE.XY35
	XLS13XY		XLS35XY
ビーム高さ (mm)	13 x 13	4 x 4	35 x 35
測定範囲 (mm)	0.1 ~ 10	0.03 ~ 3	0.2 ~ 32
スキャン周波数(Hz)	2 x 480 / 2 x 1500		
分解能 (μm)	最小 0.01		
繰り返し精度(μm)	最小 ± 0.02		最小 ± 0.15
直線性 μm)	最小 ± 0.5		最小 ± 1

※仕様は予告なく変更する場合があります。詳細はゲージシートをご参照ください。



MARPOSS
AEROEL

